万年企業を目指して
中里材木店 頑丈
管理センター ☎000-0068

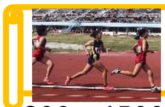
新人地区大会報告
今後の予定

THE YUUOU MAISIN
勇往邁進
2024年（令和6年）
9月 21日 土曜日
Ver.68
発行所 さいたま市浦和区元町1丁目28番17号 ☎(048)886−2151

新人地区大会報告

長距離の活躍が、県大会の弾みに

９月１５日（日）と１６日（月）の日程で、新人南部地区大会が上尾運動公園で実施された。決して長くない秋シーズンの始まりであり、県大会に向けて、とても重要な位置づけとなる大会だ。今年は、県大会までの日程がとてもタイトで、難し試合となった。そんな中でも、県大会の出場権という部分も含め、長距離の頑張りが目立った。県大会や、その後の駅伝のことを考えると、長距離のこの時期に仕上がりは、今後の活躍を予想させ、期待も膨らむ。



長距離ブロック
入賞者・出場権獲得者多数

800m・1500m・3000m(女)・5000m(男)・3000mSC(男)という長距離種目の全てで、出場権を獲得しました。また、入賞者も多数輩出し、活躍が目立ちました。男女、1・2年生のバランスの良いチーム力がついてきたと思います。県大会や駅伝にも期待がもてます。

〇上杉(女3000m 5位 2年):「地区大会は目標に遥か遠く及ばず、自己ベストも更新できずに、とても悔しい思いが残るレースになってしまいました。この悔しさを残り少ない県大会までの日々の練習にぶつけて、県大会こそは最後まで自分に負けず、今までで1番良いレースができるように精一杯頑張ります。」

〇高田(男3000mSC 8位 2年):「初の3000scだったのですが、ハードリングが下手すぎてライバルに初心者とばれてしまいました。逆にそこは自分の伸びしろだと思うので、改善し、決勝を狙った強気なレースをしてみせます。」

〇長田(女800m 8位 1年):「地区大会の予選では自己ベストを更新するタイムだったけれど、A決勝では、他の選手との差を改めて痛感したレースになりました。県大会ではレベルが高い選手がたくさんいる中で、またベストを更新できるように、短い期間ですがこれからの練習に励みたいと思います。」

〇菅原(女1500m 8位 1年):「今回の大会で初めて決勝に出場することができ、予選の走り方や予選と決勝の間の過ごし方を含めて良い経験になりました。今まで出た大会では、スタートで前の方に出られないことが多かったですが、今回は積極的に前に入ることができたと思います。最後の1周でペースを上げて前に出ても、ラストの200mでまた追いつかれてしまったので、後半になっても足の回転を落とさないようにすることが課題だと思いました。県大会までに後半のスピードを意識して練習し、中学での自己ベストを更新したいです。」

〇土江(女1600mR 5位 1年):「4継:3走は、スタートダッシュなどで慣れない動きが多く、考えなければいけないことも多いですが、県大会では緊張し過ぎず、冷静に自分の走りができるよう頑張ります。マイル:県大会では、スタートで怖がることなくスピードをあげて走りたいと思います。また、地区大会で課題であった、後半のフォームの崩れやペースが落ちてしまうことも、残りの期間でできるだけ改善し、チームに貢献できるよう頑張ります。」

〇芳川(女1600mR 5位 2年):「4継はバトンがどこも詰まってしまっていたので、まだまだ改善の余地があると感じました。県大会までに調整していきたいと思います。走りはスピードが出てない訳では無かったけどまだ上がると思うので、スムーズに加速できるようにしていきたいです。今回のマイルは初めての2走で、前の人との距離がひらいていたのでいつもより入りは速く入ったと思います。300まではしっかり走れたけどラスト100で競り合いになった時に勝ちきれなかったので、ラストで勝負できる走りをしていきたいです。」

〇水野(女1600mR 5位 2年):「今回はマイルリレーに初めて出場し、とても緊張しましたが短距離のメンバーと一緒に走れて良い経験になりました。自分のラップタイムは目標タイムに届きませんでしたが、今回のレースで学んだことを生かしてこれからの練習ではスピードを上げることを意識して取り組んでいこうと思います。」

〇佐藤(女1600mR 5位 1年):「動き自体は悪くなく、後半のスピードを落とさないように意識して走ることができたのはよかったですが、3レーンで少しカーブが急だったこともあり、スピードが上がりきっていないように感じました。バトンパスも完璧と言えるものではなかったので、県大会までに今回の課題をしっかり修正して、チームに貢献できるように頑張りたいと思います。初めてのマイルですごく緊張しましたが、前半から積極的にスピードをあげて走ることができたと思います。250mの通過までは自分でも納得のいく走りができたのでよかったですが、ラストの直線は身体が動かず、大幅に減速し、悔しさの残るレースになってしまいました。県大会では、前半から積極的に走った上で、最後まで力強い走りをし、ラップタイムを62秒台にのせられるように頑張りたいと思います。」

跳躍ブロック
県大会の主役です

県大会までの日程がとても短いので、ピークをずらした形で地区大会に臨みました。まだまだ納得のいく跳躍ではありませんが、県大会への準備はできたはず。この選手たちが、県大会の主役です。

〇佐藤(男走高跳 2位 2年):「今回はベストの記録こそ出せなかったが良い感覚を持って大会に望むことが出来た。ここから県まで約10日間と残っている時間は少ないが、課題となる場所を1つでも多く改善し万全の状態で県大会で戦っていきたい。」

〇津里(男走高跳 2位 2年):「地区大会では自分のやりたい動きをひとつも出せず、良いイメージを作れないまま終わってしまいました。自分の考えていた予定とも違った内容になってしまったためこれからの期間で修正し、自信を持って県大会に臨めるようにしていきます。自分のした選択に覚悟を持って、目標である自己ベストと関東大会出場権を獲得します。」

〇高橋(女走高跳 2位 2年):「今回の大会ではたくさんの課題が見つかりました。助走、踏切、クリアランス、気持ちどれか一つでも疎かにしてしまうとバーを越えることができません。だからこそ大会までにしっかりと準備していかないといけないと改めて思いました。県では踏切が近くならないように、毎回同じ助走ができるように自分がやるべきことを丁寧にやっていきます。」

〇川口(女走幅跳 3位 2年):「今回は、身体の状態を考えて7、8割の助走で5mを超えること、6本跳び切ることを目的として、地区でやるべきことはやった。県までの10日間、スピードのギアを上げること、それができる身体の状態にすることが今私のやるべきことであり、そのためには自分の管理を徹底する。県では30cm以上記録を伸ばして、強い気持ちを持って、必ず関東へ繋げる。」

マイルの入賞コメント

その他の種目の入賞及び幻(決勝を棄権)の入賞コメント

〇石隨(女100mH 8位 2年):「アプローチや1台目から2台目の繋がりなど、県大会に向けての課題を再認識したレースでした。決勝に残れたこと、そして決勝の舞台でしっかり自己ベストに乗せられたことは、よかったと思います。県大会ではスタートのスピード感を重視して自己ベストを狙いたいです。」

〇樽角(【400m・400mR決勝】 2年):「400m:今回県に自信を持てる走りにはできませんでしたが、県までに必ず改善すべき点が見つかりました。400mの中でも前半中盤後半と3段階に分けて良い流れを作りたいです。ここから自分の強み弱みを正確に理解し、決勝で勝負できるようにしていきます。4継:県の予選は400mの後になりますが400mとは全く別物という気持ちで切り替えて入りから一気にスピードを上げたいです。走りは正しい方向に力を伝えた力強い走りを目指します。少しでも多くバトンを繋げるように頑張ります。」

〇笹口(【400m決勝】 2年):「今回のレースは入りでスピードを上げていくことができたと思う。ラスト動きが崩れてしまっつので県大会までに最後の動きとスピードを上げていき、50秒を切って1つでも上のラウンドに進めるようにしたいです。」

今後の予定

九月二十二日（日）
○秋分の日

九月二十三日（月）
○振替休日

九月二十七日（金）〜二十九日（日）
○新人県大会
於：熊谷スポーツ文化公園

十月五日（土）
○学校説明会
○土曜公開授業

十月六日（日）
○２年駿台模試

十月十三日（日）
○記録会（短距離）
於：所沢

十月十四日（日）
○スポーツの日
○記録会（長距離）
於：三郷

十月十九日（土）
○土曜公開授業